



2017年上半期「TOPPOINT大賞」を発表いたします。

2017年1月号～6月号で紹介しました60冊の中から、  
読者の皆様にご投票いただいた結果選ばれた、  
「TOPPOINT大賞」およびベスト10冊を発表いたします。

### 2017年上半期「TOPPOINT大賞」投票結果



#### 考え方

稲盛和夫 著  
大和書房

6位

#### 決定版AI 人工知能

樋口晋也／城塚音也 共著  
東洋経済新報社

2位

#### カルロス・ゴーンの経営論

公益財団法人 日産財団 監修／太田正孝 他編著  
日本経済新聞出版社

7位

#### 「原因と結果」の経済学

中室牧子／津川友介 共著  
ダイヤモンド社

3位

#### マッキンゼーが予測する未来

リチャード・ドップス 他著  
ダイヤモンド社

8位

#### ドライバーレス革命

ホッド・リブソン／メルバ・カーマン 共著  
日経BP社

4位

#### われわれはいかに働き どう生きるべきか

P・F・ドラッカー 述  
ダイヤモンド社

9位

#### ありえないレベルで人を大切にしたら 23年連続黒字になった仕組み

近藤宣之 著／ダイヤモンド社

5位

#### HIGH OUTPUT マネジメント HIGH OUTPUT MANAGEMENT

アンドリュー・S・グローブ 著  
日経BP社

10位

#### 成功する人は偶然を味方にする

ロバート・H・フランク 著  
日本経済新聞出版社



大和書房  
2017年4月1日発行/255頁  
1,500円+税/ISBN978-4-479-79573-5

「人生は『考え方』によって形づくられる」。当代随一の経営者・稲盛和夫氏が、人間として正しいことを正しいままに貫くことの大切さを綴った。大きな志を持つ、努力を惜しまない…。善き考え方を持つことで、人生を好転させ、困難を克服してきた氏が、来し方を振り返りつつ、人生の結果を大きく左右する考え方について語る。

読者のコメント

- ベースとなる基盤思想を持つことにより多く困難課題に直面してもあるべき道筋に到達することが可能となる。  
(60代・男性)
- 『生き方』でその書かれている内容に感動してはや10年。改めて時流に合わせた内容に変化しており、さっそく息子へ贈った。(50代・男性)
- 稲盛さんの本は色々読みました。「動機善なりや、私心なかりしか」が印象的です。(30代・男性)
- このような思想哲学を持った経営者というのは、今では稀有な存在となってしまったように思います。かつては多くおられたのに。(60代・男性)
- プラス思考で他者への働きかけがいずれ自分に帰ってくると云う仏説的な内容に自分も思うところある。  
(50代・男性)
- 日本を代表する経営者が書かれた本なので読みました。ひとりの社会人として、大人として、一番大事な事は何かがよく分かりました。(20代・男性)

受賞に寄せて

このたびは、読者の皆さまから拙著『考え方』を「TOPPOINT大賞」として選んでいただき、たいへん光栄に存じます。

私は、「人生・仕事の結果」は「考え方」と「熱意」と「能力」の積で決まると考えています。本書はその私が考える「人生方程式」の中で最も重要な「考え方」が、どのようなものでなければならないかということについて、自分の考えをまとめた書籍です。

もともとは若年層を中心ターゲットとして企画されたものですが、混迷を深める現代社会にあって、悩める多くのビジネスリーダーの皆さまにとっても、本書が「羅針盤」としての役割を果たすならば、著者として望外の喜びです。

稲盛和夫



稲盛和夫

1932年、鹿児島県生まれ。鹿児島大学工学部卒業。59年、京都セラミック株式会社(現・京セラ)を設立。97年より名誉会長。84年に第二電電(現・KDDI)を設立し、会長に就任。2001年より最高顧問。10年には日本航空会長に就任。15年より名誉顧問。著書に『生き方』(サンマーク出版)などがある。



## 読者のコメント

- 方向性を間違えなくすすめるために何が必要か。その考え方をぶれることなく持つことが必要である。(60代・男性)
- 相関と因果関係の判別法を具体的に書いてあって参考になりました。(50代・男性)

## 7位

## 「原因と結果」の経済学

中室牧子／津川友介 共著

ダイヤモンド社

2017年2月16日発行／204頁

1,600円＋税／ISBN978-4-478-03947-2

「メタボ健診を受けていれば長生きできる」。そう言われると、うなづく人は多い。だが、実際は違う。正しいと思うのは、「因果関係」と「相関関係」を混同しているから——。2つのことがらが本当に「原因と結果」の関係なのかどうか。経済学や統計学の最新の知見を背景に、データから真実を見抜く思考法をやさしく解説する。



## 読者のコメント

- 自動車メーカーとIT企業がこれからの自動車業界の構成に変化を起こすのか、興味がない。(60代・男性)
- 自動車関連の仕事に従事していてこの本はとも興味をひくものであった。(60代・男性)

## 8位

## ドライバーレス革命

ホッド・リップソン／メルバ・カーマン 共著／山田美明 訳

日経BP社

2017年2月27日発行／449頁

2,000円＋税／ISBN978-4-8222-5195-6

副題「自動運転車の普及で世界はどう変わるか?」。ここ数年で急速に進歩している「ドライバーレス・カー」(ドライバー不要の完全自動運転車)について述べた書である。いつ本格的に走り始めるのか? 駐車や通勤、仕事にどんな影響を及ぼすのか? 人工知能に詳しい著者たちが、来るべき“自動運転社会”の姿を描き出す。

## 9位

## ありえないレベルで人を大切にしたら23年連続黒字になった仕組み

近藤宣之 著

ダイヤモンド社

2017年3月16日発行／263頁

1,500円＋税／ISBN978-4-478-10159-9



## 読者のコメント

- こんな社長の下で働きたい、と純粋に思えた。会社は給料の前に、まずは人間関係だ。(50代・男性)
- どの時代も人材・在り方が不変(不易流行)なのだと再認識できた。(50代・男性)

23年連続黒字、離職率ほぼゼロ——。債務超過に陥っていた(株)日本レーザーを復活させた同社社長が、変革の数々を語った。毎年2割以上の社員を海外出張させる、社員の事情に合わせた個別管理を行う…。社員のモチベーションを高めて会社を発展させる、「人を大切にしながら利益を上げる経営」の具体策が明かされる。



10位

## 成功する人は偶然を味方にする

ロバート・H・フランク 著 / 月沢李歌子 訳

日本経済新聞出版社

2017年3月22日発行 / 245頁

1,600円+税 / ISBN978-4-532-35723-8

## 読者のコメント

● 努力の大切さを超えたその考え方に非常に興味があり、感動させられた。(60代・男性)

● 僅か60余年ですが、小生がこれまでの人生で感得した事と同じ故。(60代・男性)

努力と才能が成功をもたらす。多くの人は、こう思っているのでは？ だが、それは幻想だ。才能があり、努力をしても、成功するのはごく一握りの人。明暗を分けるのは「運」や「偶然」だという。この運や偶然の重要性について、経営者の所得から、名画「モナ・リザ」、音楽のヒット曲まで、様々な事例を交え、わかりやすく説く。



2017年上半期「TOPPOINT大賞」は、

多くの読者の方々にご投票いただいた結果、上掲のようなラインナップとなりました。

一時代を築いた経営者の哲学に触れられる書、時代の潮流を見通した書、ビジネスの真理を説いた書…。

いずれも、「一読の価値ある」書籍ばかりです。

興味を持たれた書籍で、まだお読みになっていないものがあれば、

ぜひ、お手に取って一読されることをお勧めいたします。

「TOPPOINT大賞」の発表は、今後も半期毎に行う予定です。

読者の皆さまには、ぜひ、積極的にご投票いただき、

“読者が選ぶ”ベストビジネス書の選考にご協力いただければ幸いです。

【選考方法】月刊誌『TOPPOINT』の定期購読者を対象にアンケートを実施。本誌2017年1月号～6月号で紹介した書籍60冊の中から、「この本は良かった」「役立った!」と思われる3冊に投票していただいた。1位3点、2位2点、3位1点として集計し、総得点1位の書籍を「TOPPOINT大賞」として選定。併せて、得点順に上位10冊を選出した。